

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター

実施月日：令和7年9月2日

実施場所：JA みやぎ南三陸町統括営農センター

1 検討内容

No	検 討 項 目
1	プロ課題 No. 1 「生食用ぶどうのブランド化による生産拡大」
2	プロ課題 No. 2 「気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培者の育成と作付面積の拡大」

2 検討委員の構成

(単位：人)

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者	1	生 活 者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市 町 村	2	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「生食用ぶどうのブランド化による生産拡大」	4.3	・漁業者が新規参入されており、異業種の方の生産実績を重ねていけば生産者も増加するのではないかと考える。 ・協議会立ち上げ後、様々な取り組みを積極的に行っており、生産者の熱意が感じられ評価できる。今後は新たな販売戦略と更なる収量の確保が課題と考える。 ・今後は出荷量だけでなく収益の面についても検討が必要と考える。 ・更なるブランド向上に向け、栽培技術向上や生産者拡大など今後も支援願う。 ・出荷量が目標値を上回る成果を上げており、今後の生産、出荷を期待する。 ・生産者への支援や「南三陸スイーツ協会」との連携など多岐にわたる支援が評価できる。	・新規栽培者の掘起こしによる生産拡大や、関係組織との連携による認知度向上に向けた取組等について、引き続き支援してまいります。 ・生産を始めて数年の生産者も多いため、樹齢に応じた収量向上を図るとともに、生産者の経営状況を把握し、収益の向上を検討しながら生産拡大を支援してまいります。 ・更なるブランド化を進めるとともに、販路拡大の検討についても支援を行ってまいります。

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント，評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 2 「気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培者の育成と作付面積の拡大」	4.3	・課題となっていた活着率改善に取り組み、目標とする苗数に達成できており、今後は、作付面積拡大、生産者確保、作業の効率化等が課題と考える。 ・課題解決に向けて様々な改善策を試みている。水不足など新たな問題も出ているが、宮城県内の先進地として取り組みに期待している。 ・作付面積拡大に比例して現状のアナログな作業では、労力に見合った費用対効果が得られないのではと感じる。 ・今後の気仙沼市、南三陸町の特産になるよう期待する。	・管内の新規作付者や作付希望者への技術指導により作付の定着を図るとともに、さらなる作付拡大に向けた支援に取り組んでまいります。 ・当地域におけるクロマツ栽培技術は未確立であり、新たな問題が発生することもあります。今後も枝もの用クロマツ栽培技術確立に向け支援してまいります。 ・今後は機械化、省力化技術の導入を検討しながら、南三陸パインプロを核としたクロマツ産地形成に向け支援を行ってまいります。